



シリーズ210

高めよう!
人権意識

心のかけ橋

問 人権推進課
(☎928-1006)

福山100NEN教育

教室での学びを行動化
できる子どもに

教育委員会では、市制施行100周年を迎えた今年1月、次の100年へ、さらにその先の未来に向かって、子どもたちの学びをより確かなものにし、「福山」に愛着と誇りを持ち、変化の激しい社会をたくましく生きる子どもを育てる「ことを「福山100NEN教育」として宣言し、取り組みを進めています。

「福山100NEN教育」では、自ら課題を見つけて解決する力、困難に立ち向かい粘り強く物事をやり抜く力、他者と分かり合おうとする力「ローズマインド」(思いやり・優しさ・助け合いの心)などを子どもたちに育み、教室で学んだことを日常のさまざまな場面で行動化できることをめざしています。

互いの考えを認め合い
思いやりや感性を育む

ある学校の家庭科の授業で、子どもたちが野菜のゆで方を考えているとき、「早くゆでるために、材料を小さく切ろう」「いや、切つてゆでると栄養がゆで汁に出てしまうよ」「じゃあ、ゆでてから切ったほうがいいの?」と話し合つ中で、より良いゆで方を友達と見つけ出していました。



多くの授業の中では、ペア学習やグループ学習といった話し合い活動を取り入れています。しかし、さ

まざまな意見を交わす中で、時には友達を傷つける発言をしてしまうこともあります。そんなとき、相手の悲しそうな表情を見て、「悪いことを言ってしまった」と感じたり、隣の友達からの「そんなこと言ったらいけんよ」という声で、「今度からは気を付けよう」と学んだりすることもあります。

このように授業は、単に知識・技能を学ぶだけでなく、友達など周

の人との関わりの中で、学習内容が分かることの喜びや他者と協力して問題を解決することの大切さに気付くとともに、思いやりや感性を育む場でもあります。

学校・家庭・地域で育てる
ローズマインド

こうした学校の取り組みだけでなく、地域でも子どもたちの心が育まれています。地域一斉清掃では、普段登下校中に見かけた公園の雑草が気になっていた子どもが「今回はこの公園を清掃させてください」と地域に提案し、当日の準備や進行も子どもたちが行いました。「こんなことまで自分たちでできるのですね」と地域の人から褒められ、充実感・達成感を得ることができました。



将来、「ローズマインド」をもつてたくましく生きることができると子どもたちを、市民一丸となって育んでいきたいと思います。

問 指導課 (☎928・1275)

つしまも だいじにするよ おとせだち